

# 文書館だより

TEL 027(221)2346

URL <http://www.archives.pref.gunma.jp>

第55号

平成27年9月



終戦を迎えて四年だがこれからが！  
(縦52cm・横76cm)  
群馬県行政文書(A0384A0G 1979)

へ本集 なる展の着の二た月 蓄イ勤にかが到金産す つにら、て一省事か れに 示策四九上  
と金め日つものいで関一のこの運ン俊もかれ成達済か増と展て、宣よ務れ当ま作終用本九上  
繋とら本政のたしたたしたス戦昭の動「の運動「の動「の貯蓄所いたして長し安の進の示の内群群馬馬県政知物さしたの終戦ポ部よに、史料は、  
げてた府貯蓄大引き経済の自イン貯蓄が必要とあなる展の着の二た月 蓄イ勤にかが到金産す つにら、て一省事か れに 示策四九上  
いき用金を、こうして貯蓄にます。なる展の着の二た月 蓄イ勤にかが到金産す つにら、て一省事か れに 示策四九上  
た。戦後不足して貯蓄によ興へ本集 なる展の着の二た月 蓄イ勤にかが到金産す つにら、て一省事か れに 示策四九上  
日本復た資

## 国際アーカイブズの日(第一回) ぐんま史料講座開催報告

文書や記録の保存・利用について、世界中の公文書館の相互の連携を強め、その発展に貢献することを目的として、国際公文書館会議（ICCA）が発足した6月9日（一九四八）は、「国際アーカイブズの日」と定められています。この国際アーカイブズの日を記念し、郷土群馬に関連する史料を活用・紹介する「第一回ぐんま史料講座」を7月25日に当館で開催しました。

講座では、岩根承成氏（元群馬大学講師）を講師としてお迎えし、「高崎連隊の史料からみた昭和の戦争」と題してお話していただきました。



実際の講座の内容としては、高崎城址の陸軍兵営を拠点にした歩兵連隊の戦場記録である「戦闘詳報」や、戦後の「戦犯裁判記録」などの史料を中心に進められました。情報

とされていた当時の戦場の実相について、貴重な写真や多数の史料を提示しながら、史料やその内容を重視する視点で熱心に話されていました。

例年と同様に、定員の50名を越す多数の応募者があつた今回の史料講座。講座終了後も、講師の岩根氏を囲んで話を伺う受講者の姿が多数見られるなど、大盛況のうち終えることができました。

### 平成26年度 ロビー展示Ⅱ 「近代群馬の養蚕・製糸」の開催報告

平成26年12月6日～平成27年5月10日まで、標記の展示を開催しました。この展示では、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録を記念し、当館収蔵史料を中心に、明治～昭和初期にかけての群馬の蚕糸・製糸業に関する史料を展示しました。

展示では、繭や生糸が県の重要な産業であったことがわかるように、明治・大正・昭和それぞれの時代の色鮮やかな物産統計グラフなどを展示しました。また、製糸工場で働く娘たちの様子が見てとれる、絵と産業歌で描いた絵葉書「糸ひく娘」や、当時の製糸女工の勤務状況がわかる「工場日誌」などを展示しました。

これらの史料はテレビ番組でも取り上げられるなど、大変貴重な史料であり、開催期間中は五百人を超える方々が観覧

に訪れました。

### 平成27年度 ロビー展示Ⅰ 「記録が語る昭和の戦争と 県民のくらし」の開催報告

今回の展示では、今年がアジアそして太平洋での戦争終結から七十年を迎えることを受け、戦時下における県民のくらしの様子が伝わる史料を取り上げています。今では当たり前となっている人々の権利や、広く認められている多様化した価値観。それらが大きく制限されていた戦時下での様子や、戦争遂行の一因となった様々な事象を、当館所蔵の史料から振り返ります。

展示内容は、十五年にわたるアジア・太平洋地域での戦争へとつながっていく軍部の武力行動、軍事演習や軍国主義教育に係わる史料を展示した「1 迫り来る戦争への備え」。満州への開拓者入植や思想教育、国家による統制に係わる史料を展示した「2 日中戦争の開始」。県民の防空訓練に関する史料、戦費調達や積極的な協力を求めるスローガンなどを展示した「3 太平洋戦争の開始」。そして、空襲後の様子や占領政策、復興に関わる史料を展示した「4 戦争と戦後」です。

本県とも縁が深く当時天皇の側近であった鈴木貫太郎の二通の手紙も展示されており、文書館ならではの貴重な

史料の展示となっています。ぜひ一度足を運んでいただき、「戦争とは何か、平和とは何か」を改めて考えていただければと思います。

### 「鈴木貫太郎書状」(二・二六事件遭難見舞に対する礼状)

昭和11年（一九三六）3月21日

昭和11年2月26日に起こった皇道派青年将校による



クーデターが、「二・二六事件」です。事件当時、天皇の側近（侍従長）であった鈴木貫太郎は、陸軍大尉安藤輝三指揮の一隊に官邸（自宅）で襲撃され、3発の銃弾を受けるなど瀕死の重傷を負いましたが、たか夫人の機転などで一命を取りとめました。この書状は、群馬県中学校（現県立前橋高校）の同級生・齋藤熊雄の御見舞に対する鈴木木の礼状です。事件の約1か月後には、快方に向かったことがわかります。

前橋市・齋藤忠一家文書（P09506 No.130）

# 古文書講座修了者4000人突破

昭和57年に全国で8番目に開館した群馬県立文書館は、翌58年度から毎年、教育普及事業の一環として古文書講座（古文書入門講座・長期古文書講座）を開催し、多くの県民に地域の古文書や県の公文書等の解読学習の機会を提供してきました。初めて開催してから今年で33年目になります。

講座終了時には、受講者のうち一定回数以上の出席者に修了証書を授与してきましたが、平成27年度古文書入門講座で講座修了者が延べ四千人を突破しました。これは全国的に見てもあまり例がないことであり、誇るべき出来事と思います。



今回記念すべき四千人目の修了者となったのは、高崎市在住の小野寺都志子さんと、平成27年7月4日（土）の平成27年度古文書入門講座閉講式において、記念品として特製タグをつけたぐんまちゃんのぬいぐるみを贈呈しました。

小野寺さんは地元の歴史資料を読めるようになりたいとのことと、「回を追うごとに読めるくずし字が増えた」と手応えを感じてくださったようです。

## 古文書入門・長期古文書講座

### ・ 出前なんでも講座

#### ● 古文書入門講座

6月6日（土）から7月4日（土）まで毎週土曜日、計5回、当館職員を講師として古文書入門講座を行いました。古文書を初めて読んでみようとする方のための講座で、受講者から、古文書の解読のみならず背景の歴史まで学べると大好評をいただいております。今年も定員を大幅に超える申し込みをいただき、修了者数は77人でした。また、この講座で入門・長期をあわせた修了者数が延べ四千人を超えました。

#### ● 長期古文書講座

9月5日（土）から11月28日（土）まで毎週土曜日、計12回、古文書解読の経験のある方を対象にした長期講座で、今年には入門講座修了者を含め71人が受講中です。12回のうち10回は当館職員、2回は丑木幸男先生（近代・国文学研究資料館名誉教授）の講座です。

#### ● 出前なんでも講座

当館職員が地域の皆様の所に伺う講座です。今年には既に昨年を超える申し込みがあり、地域の皆様にこの講座が浸透してきたようです。今後も地域の公民館活動や学習団体の研修などにお気軽にご利用ください。

## 職場体験・インターンシップ

### ● 職場体験（前橋市立木瀬中学校）

文書館では、学校との連携の一つとして、9月1日（火）から9月3日（木）の3日間、職場体験学習として、前橋市立木瀬中学校2年生の生徒さん6名を受け入れました。文書館の総務普及、公文書、古文書の各係の仕事を一日ずつ体験していただきました。生徒さんは初めての体験で戸惑いもあったと思いますが、意欲的に取り組み、生徒さんからは、歴史への関心が高まった、この貴重な体験を将来のために活かしていきたいとの感想が寄せられました。

#### ● 生徒さんより質問をいただきました。



（問）  
書庫がいっぱいになったら、どうするのですか。

（回答）  
まだ、余裕はあるので、すぐにいっぱいになることはありませんが、文書が入りきらないということのないよう予算を確保して、文書を入れる場所をつくるように努力していきます。

## ●インターンシップ

群馬県で実施するインターンシップ(学生実習生受け入れ制度)の大学生等9名が、8月28日(金)に来館し、2班に分かれ公文書係と古文書係の仕事を交互に体験していただきました。実習の最後に、「ロビー展示・記録が語る昭和の戦争と県民のくらし」を館職員の解説により、観覧しました。

## 学校連携

### 前橋市立第五中学校 授業協力の報告

## ●前橋市立第五中学校

第五中学校の第1学年の生徒150名(5クラス)が、6月18日・7月6日・7月8日の3日に分かれて、社会科(歴史分野)の授業の一環として来館しました。今回の授業協力は、歴史分野の学習開始に合わせての文書館活用であり、身近な地域に残る遺跡や歴史資料の見学を通して、歴史についての「興味・関心」や歴史を学ぶ「意欲」を高めることを目的としました。

学習の一つである「身近な地域に残る遺跡」では、当館に隣接する「二子山古墳」を見学しながら、古墳についての基礎的な知識と概要について、解説を行いました。学校近くにある古墳なので、その存在を知っている生徒は多いようでした。

たが、作られた理由や古墳そのものについての説明には、真剣な表情で聞き入っていました。

また「歴史資料の見学」については、当館所蔵の江戸時代につくられた天川村絵図を中心に、天川に由来する貴重な古文書類。そして、群馬県に関する明治時代の行政文書等を間近で見学しました。見学では、声に出して文書を読み進める生徒が多く見られ、今では使われていない漢字や崩し字にも、友達と協力しながら積極的に関わる姿がよく見られました。現物の遺跡や歴史資料を見ることで、その「古さ」や「変化」等の歴史を間近

に感じ、歴史学習への意欲が高まるように留意した今回の授業協力。今後も、歴史を体感できるように、当館所蔵資料を中心に、現物資料の活用を図っていきたいと考えます。

## 古文書

新たに収集した

### ◎前橋市月田町・尾上住雄家文書

(平成27年4月以降)

近世期に勢多郡月田村名主、明治初期に同村戸長等を務めた尾上家の文書群。柏川用水・赤城山小沼用水、地券・賞状などの近代文書。約六三〇点。(寄託)

### ◎前橋市三俣町・笹本義美氏収集文書

旧勢多郡富士見村・北爪節章家旧蔵文

書、「勢多郡花輪村酒造高書上」、武蔵国幡羅郡間々田村の近世・近代文書、などからなる。約一〇〇点。(寄託)

### ◎前橋市駒形町・岡崎家旧蔵文書

近世期の駒形新田村名主文書、明治初期の戸長役場文書、近現代の酒造・油絞り業の経営史料からなる文書群。旧岡崎茂芳家文書その他。約四千点。(寄贈)

### ◎神奈川県横浜市・久米幹男氏収集文書

昭和初期(戦前期)を中心とする群馬県の名所絵はがき(写真・絵画)の文書群。伊香保・草津温泉、榛名・妙義山、太田大光院など。約三〇〇点。(寄贈)

### ◎前橋市城東町・田中平八家文書

昭和戦前・戦中期の衣料切符や食糧購入通帳・同購入券、軍神岩佐中佐遺書(県立前橋中学校)、田中氏宛各種感謝状などの文書群。約九〇点。(寄贈)

## 古文書

新たに閲覧できる

(平成27年7月及び同年9月公開分)

※文書群名の住所表記は文書受入当時のもの

※Pから始まる番号は請求番号

### ◎前橋市小坂子町・織間弥平家文書

①勢多郡小坂子村名主文書、②明治初期の副戸長文書、③大正期の区長文書、④織間家私的文書、などからなる。①は村行政関係、村況・戸口関係、土地関係、貢租関係など。五三三点(P九一〇四)

### ◎高崎市新保田中町・今野忠雄氏収集文書

明治初期の藤岡郡役所折茂健吾郡長宛て楯取素彦書簡。前橋の楯取が、茂木賀内氏の後任に富岡警察署に在勤の三澤重礼はどうか、と藤岡郡役所の折茂郡長に進言しているもの。一点(P〇〇〇三)

### ◎前橋市元総社町・清水勉家文書

特別大演習統監部発行「昭和九年特別大演習写真帖」である。陸地測量部撮影。昭和九年十月、群馬・栃木・茨城の北関東三県にまたがり実施された特別大演習の写真集。一点(P〇〇〇〇四)

### ◎前橋市朝日町・酒井保敏家文書

①近世の松平大和守家臣関係文書、②近代文書、③酒井家私的文書からなる。①の幕末・維新时期「道中日記」「太政官日誌」、③の典籍・版本・地図類などが注目される。一四三三点(P〇〇〇五)

### ◎前橋市本町・池田宏家文書

主に群馬郡前橋町関係の近世町方文書である。連雀町・前代田村・紅雲分村などの証書類が多い。村行政関係、村況・戸口関係、金融関係、家計関係などである。二〇点(P〇二〇四)

### ◎多野郡新町・渡邊良一家文書

主に明治期の字典と昭和戦前期の雑誌付録冊子・地図資料からなる。中でも「満州志那全土明細地図」は、満州国の歴史・地理を理解する上で貴重な史料である。一〇点(P〇三〇五)

◎多野郡神流町・旧多野郡黒田村文書

①宝永六年「相定申手形之事」、②享保八年「手形之事」、③嘉永六年「差入申詫書之事」である。③は、黒田村の六左衛門らから大家の林助宛に差し出された詫書である。三点（P〇〇四〇二）

◎前橋市・清水照治氏収集文書

寛文十年二月「東上州群馬郡前橋領宮地村水帳」（縦一冊）である。宛は大屋勘太夫・青木源三右衛門・天野九左衛門で、宝暦九年正月に本帳を書写した文書である。一点（P〇〇八〇九）

◎前橋市小神明町・小神明町自治会文書

小神明町、それ以前の芳賀村小神明の頃の近現代文書群。農業と消防団関係の史料が比較的多い。

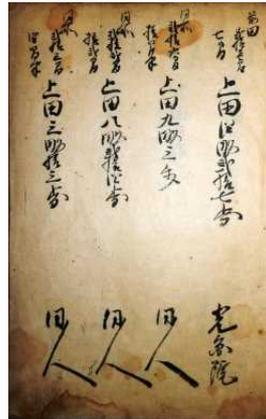
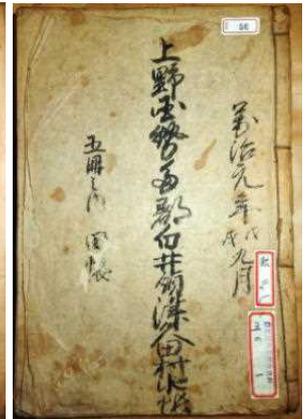
第二次公開。一一八点（P八三一二）

◎碓氷郡松井田町五料・中島徳造家文書

近世碓氷郡五料村名主文書である。免状（年貢割付状）、助郷（人馬通帳など）、病人継送り（宿村々継送帳）などである。第二次公開。二四四五点（P八九〇九）

◎渋川市赤城町・旧赤城村津久田区有文書

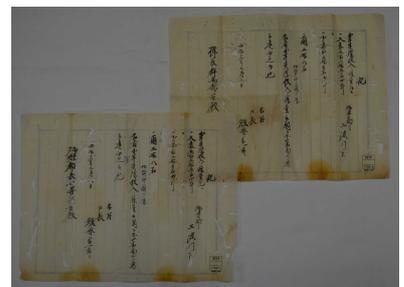
勢多郡津久田村に関する地方文書及び同村戸長役場文書である。近世から明治期にかけて名主や戸長などを務めた池田家に伝存した。検地帳・宗門人別帳・村明細帳など。五〇七五点（P一二〇四）



上野国勢多郡白井領津久田村水帳  
（万治元年九月、No.五六）

◎渋川市・狩野一朗家文書

天明三年浅間山噴火の被害絵図である。上野国全般と武蔵国北部が描かれている。噴火した浅間山、泥流被害の吾妻川沿岸、降灰被害の中山道・下仁田道地域が強調されている。一点（P一三〇三）



① 戸長役場文書

飯塚馨家文書（請求番号P八二一四）は、藤岡市鬼石町三波川の飯塚家に伝来した戦国期から昭和期に至る文書群です。飯塚家当主が戦国期には武士として活躍、江戸時代には三波川村名主役を世襲、明治時代以降も三波川村戸長・村長などを歴任しているため、長期間継続して一村落の行政文書が残されている県内では稀有な事例です。

同家文書は、平成13年に一万七千二百四十通が群馬県指定重要文化財に指定されています。昨年夏に同家から新たに追加寄贈された文書と文書館で未整理のままだった合計

八九九通について、8月4日、県指定重要文化財に追加指定することが県文化財保護審議会より答申されました。新たに、追加指定されるのは写真①の戸長役場文書や写真②の高札などです。

また、すでに県指定重要文化財であった同家保管の戦国期文書なども合わせて全ての飯塚家文書が当館に寄贈されました。同家文書は、江戸時代初期から明治4年までの文書についてはすでに閲覧公開されています。今後、戦国期文書や明治初期以降の文書もじょじょに閲覧公開をすすめていく予定です。



② 高札

# 飯塚家文書を県重文に追加指定の答申

新たに収蔵した  
**公文書**

**管理受任等** 平成26年度に管理委任、引継ぎにより県の各機関から受け入れた文書は、一、〇五一冊でした。

(詳細は表1のとおり)

表1

平成26年度管理受任文書の課室別冊数

課室名	冊数	課室名	冊数	課室名	冊数
総務課	2	保健予防課	3	産業人材育成課	41
学事法制課	98	障害政策課	9	道路整備課	4
消防保安課	133	薬務課	16	河川課	7
企画課	1	自然環境課	207	都市計画課	183
地域政策課	4	森林保全課	18	<b>知事部局合計</b>	<b>1,018</b>
スポーツ振興課	46	農村整備課	9	文化財保護課	33
健康福祉課	14	産業政策課	2	<b>教育委員会合計</b>	<b>33</b>
医務課	32	商政課	116	<b>総計</b>	<b>1,051</b>
介護高齢課	61	労働政策課	12		

**収集** 平成26年度の文書整理にお

いて県庁各所属が廃棄した文書資料の中から、文書館が歴史資料として収集したものは一、九二二冊でした。

(詳細は表2のとおり。なお、管理委任解除とは、保存期間が満了し、管理委任を解除された文書から収集したものの)

表2

平成26年度収集文書の部局別冊数

部局名	冊数	部局名	冊数
総務部	122	県土整備部	323
企画部	47	会計局	12
生活文化スポーツ部	40	議会事務局	20
健康福祉部	62	労働委員会事務局	2
環境森林部	86	教育委員会事務局	132
農政部	88	(管理委任解除)	925
産業経済部	63	<b>合計</b>	<b>1,922</b>

(参考)

平成25年度の状況

・管理受任等

八九八冊

・収集

一、九九二冊

今後の行事予定

通り)、(3)草津道、(4)中之条・原町などの諸道、(5)天明三年浅間山噴火被害絵図、他

◎ロビー展示Ⅱ解説会

日時：平成27年10月24日(土)、

①午前11時②午後1時③午後3時50分

各回約30分、申込み不要

●開館記念日行事 10月24日(土)

【第2回ぐんま史料講座】

「武田信玄・勝頼と真田幸綱・昌幸」  
講師：丸島和洋氏

(国文学研究資料館研究部特任助教

・NHK大河ドラマ『真田丸』時代考証)

定員50人※申込多数の場合は抽選

●常設展「なぜ記録を残すのか？」

アーカイブズの役割」

2・2(土)～2・28(日)

●新公開文書展

※新規公開古文書の展示

3・5(土)～5月上旬

事前申込が必要なものもあります

詳細は文書館HPをご覧ください



天明三年浅間山噴火被害絵図(部分)

●平成27年度ロビー展示Ⅱ

今年度のロビー展示Ⅱは、当館収蔵史料の中から、戦国期吾妻に進出し近世前期に吾妻を領有した真田氏の関係史料、信州街道(大戸通り)、草津道、中之条・原町などの諸道に関する史料を展示します。また、初日の10月24日(土)は、展示解説会を開催します。

開催期間

平成27年10月24日(土)～

平成28年1月30日(土)

展示内容

(1)真田氏と吾妻、他、(2)信州街道(大戸

発行／群馬県立文書館

http://www.archives.pref.gunma.jp

題字／岡庭征人書